



エコアクション21  
認証・登録番号0001803

平成26年度

エコアクション21  
環境活動レポート

(平成26年4月～平成27年3月)



一般財団法人 福岡県浄化槽協会

作成日 平成27年5月29日

## もくじ

I	組織の概要.....	1
II	対象範囲 .....	1
III	環境方針 .....	3
IV	環境目標 .....	4
V	環境活動計画.....	5
VI	環境目標の実績とその評価 .....	6
VII	環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 .....	8
VIII	次年度以降の環境目標.....	12
IX	環境関連法規への違反・提訴等の有無.....	13
X	代表者による全体評価と見直し結果 .....	13

## I 組織の概要

### 1 主な事業概要

昭和52年2月4日に財団法人福岡県浄化槽協会は設立しました。

主な事業内容は浄化槽の普及啓発の他、昭和55年から、計量法107条に基づく「濃度計量証明事業所」として、浄化槽放流水の水質検査（福岡県浄化槽法施行細則第9条）及び、昭和61年3月から浄化槽法第57条に基づく「指定検査機関」として福岡県知事の指定を受け、福岡県のうち、北九州市及び大牟田市を除く全領域の同法第7条及び11条に基づく検査を実施しています。

※平成24年4月1日に一般財団法人福岡県浄化槽協会に名称変更

### 2 名称・所在地

一般財団法人福岡県浄化槽協会

理事長 三浦 正吏

〒811-2412 福岡県糟屋郡篠栗町大字乙犬966-2

電話 (092) 947-1800 FAX (092) 947-3636

### 3 環境保全関係の責任者及び連絡先

環境マネジメント責任者 古賀 政利

環境管理責任者 山本 直隆

連絡先 (092) 947-1800

## II 対象範囲

### 1 対象組織

#### ◎福岡検査センター

〒811-2412

糟屋郡篠栗町大字乙犬966-2

電話 (092) 947-1800

FAX (092) 947-3636

#### ◎筑後検査センター

〒839-0801

久留米市宮ノ陣3-2-38

電話 (0942) 46-1900

FAX (0942) 46-1901

#### ◎筑豊検査センター

〒826-0042

田川市大字川宮872-1

電話 (0947) 45-6102

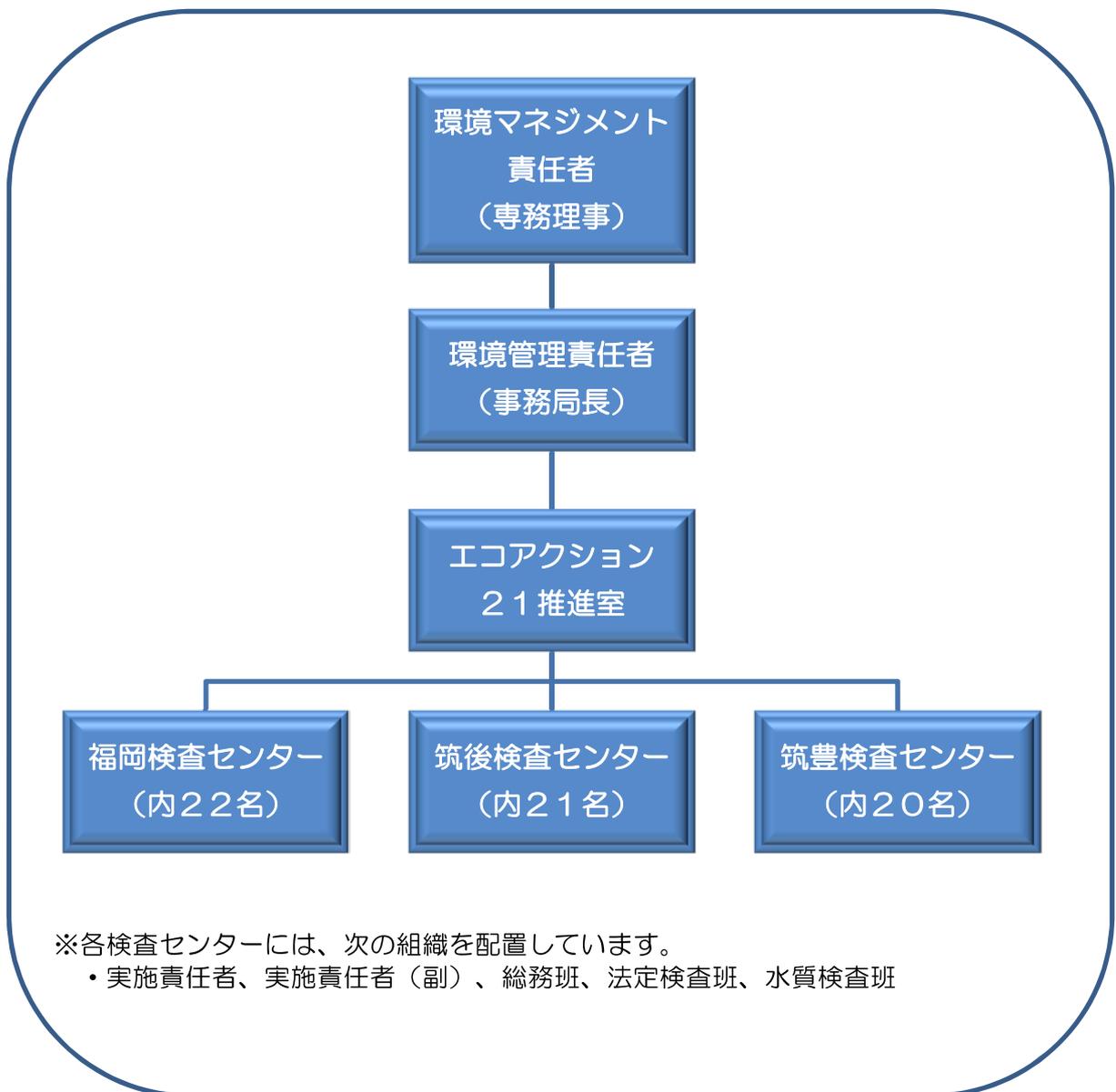
FAX (0947) 45-4607



### 2 対象活動

浄化槽法に基づく検査、県細則に基づく濃度計量証明事業、浄化槽の調査研究及び技術指導、環境改善に関する調査研究・技術指導・普及啓発

3 エコアクション21の実施体制  
従業員数 63名 (平成27年5月1日現在)



## 環境方針

一般財団法人福岡県浄化槽協会は、浄化槽の法定検査をはじめ、環境計量等の事業活動を通じ、水環境問題及び限りある資源の保護に積極的に取り組み、環境調和社会の構築実現に貢献します。

**1 職員一人一人が身近なエコを意識し行動し環境負荷を削減する**

一本の蛍光灯が消費する電力、一枚の紙、一滴の水が資源であることを意識し、身近なところから環境活動に取り組み、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量を削減する。

**2 組織的な行動により一人一人の取り組みをより大きな環境活動に広げる**

個人の取り組みを組織全体の取り組みに広げていくことにより、より大きな環境保全活動になることを基本とする。

**3 事業活動をより積極的に環境保全活動に反映させる**

地域の水環境を保全・向上させていくために、出前講座や会員等が開催する研修会、環境フェアなどへ職員を積極的に派遣する。

**4 環境に配慮した商品の購入**

事務用品等については、環境に配慮した商品の購入に努める。

**5 化学物質使用量の適正管理**

化学物質の使用量を適正に管理する。

**6 環境関連法規等を遵守する**

事業活動に係わる環境関連法規等、その他の要求事項を遵守する。

平成24年4月1日

一般財団法人 福岡県浄化槽協会  
専務理事 古賀政利

## IV 環境目標

削減項目	単位	基準値 (H20実績)	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
二酸化炭素排出量	目標%	—	96%	95%	94%	
	kg-CO <sub>2</sub>	212,046	203,564	201,444	199,323	
	電気	kWh	361,845	347,371	343,753	340,134
	ガス	kg	5,005	4,805	4,755	4,705
	ガソリン	L	21,053	20,211	20,000	19,790
灯油	L	3,254	3,124	3,091	3,059	
廃棄物排出量	目標%	—	96%	95%	94%	
	kg	4,453	4,275	4,230	4,186	
	燃えるゴミ	kg	1,791	1,719	1,701	1,684
	コピー用紙	kg	753	723	715	708
	古紙類	kg	1,489	1,429	1,415	1,400
	缶・ビン	kg	53	51	50	50
	ペットボトル	kg	36	35	34	34
その他不燃ゴミ	kg	331	318	314	311	
総排水量	目標% m <sup>3</sup>	— 5,011	96% 4,811	95% 4,760	94% 4,710	
化学物質	—	使用量を把握し、適正使用に努める。				
グリーン購入	品	—	4以上	5以上	6以上	
環境フェア	回	13	13以上	同左	同左	
清掃活動	回	14	14以上	同左	同左	

※廃棄物排出量は、平成 21 年度を基準とした。

※平成 19 年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数：0.387kg-CO<sub>2</sub>/kWh を使用。

## V 環境活動計画

### 電力等の抑制

- ① 無人スペース及び昼休み時の消灯を徹底する。
- ② 室内の温度を夏場 28℃、冬場 22℃に調整する。ただし、温度管理が必要な場所（検査室等）は除く。
- ③ エアコンフィルターの清掃は、年2回実施する。
- ④ 使用しない電気器具は、コンセントから抜くなど、節電に努める。
- ⑤ 冷蔵庫の温度調節を夏場は中、それ以外は弱にする。ただし、検査用冷蔵庫は除く。
- ⑥ 電気、ガス、灯油の節約を呼びかける掲示を行う。

### 紙使用量の削減

- ① コピー用紙の両面使用を徹底する。ただし、個人情報等を含む紙は裏紙使用しない。
- ② メール及びローカルネットワーク、プロジェクター等の活用による紙使用の削減に努める。

### 水使用量の削減

- ① 水回りに節水を呼びかける文章を掲示する。
- ② 水漏れの点検を月1回実施する。
- ③ 再生水は器具洗浄、トイレ洗浄の他、植木等の散水にも利用する。（筑後検査センターに限る）

### 廃棄物の削減及びリサイクルの促進

- ① ゴミの分別を徹底する。
- ② コピー用紙や新聞紙、段ボール等の資源化に努める。
- ③ グリーン購入に努める。

### 自動車燃料の抑制

- ① 自動車を運転する際、無駄なアイドリングをせずアクセルむらのない運転に努める。
- ② 検査場所へ移動する際、コースの選定など効率的な運転に努める。
- ③ タイヤの空気圧を1ヶ月に1回チェックする。
- ④ オイル交換を5,000 km 毎又は半年に1回実施する。
- ⑤ 車内温度の上昇を抑制するため、夏場は、駐車時及び休憩時にサンシールドを使用する。

### 地域社会における環境活動計画

- ① 出前講座や会員等が開催する研修会、環境フェアなどへの職員の派遣を協会会報及びホームページにより積極的に広報するとともに、市町村広報紙による広報を年1回は要請する。
- ② 事務所周辺の清掃活動を環境月間の6月と浄化槽の日がある10月の年2回実施する。
- ③ 環境活動レポートをホームページに掲載する。
- ④ 月1回行われる地域自治会の清掃活動に積極的に参加し、周辺地域の美化に努める。（筑後検査センターに限る）

### 化学物質使用量の適正管理

P R T R制度対象物質及びその他の化学物質の使用量を適正に管理する。

### 職員教育の充実

- ① 職員の環境教育・環境学習を推進する。
- ② 毎年度始めに全職員に環境方針や環境活動計画を周知・徹底する。

### 内部監査の実施

内部監査制度をつくり、内部監査を実施する。

## VI 環境目標の実績とその評価

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
延べ床面積 (㎡)	1,969	1,969	1,969	1,969	2,275	2,275	2,275
職員数 (人)	64	63	61	61	63	63	63
公用車台数 (台)	24	25	24	24	24	25	27
水質検査件数 (件)	113,221	114,715	120,150	120,968	125,375	127,537	130,969
外観検査件数 (件)	33,385	31,643	33,688	24,565	31,873	36,980	37,436
二酸化炭素排出量 (kg)	212,046	198,468	175,270	167,779	195,975	211,378	193,684
電気使用量 (kWh)	361,845	339,496	282,104	277,864	327,440	369,406	344,975
ガス使用量 (kg)	5,005	4,208	4,833	4,803	5,779	6,841	4,193
ガソリン使用量 (L)	21,053	21,477	19,157	17,351	18,145	19,767	19,647
灯油使用量 (L)	3,254	3,319	4,054	3,650	3,925	798	794
水道水使用量 (㎡)	5,011	4,103	2,996	2,974	2,790	2,867	2,665
一般廃棄物排出量 (kg)	未測定	4,453	3,787	3,203	2,993	3,304	2,835

項 目	単位等	26 年度 上半期 目標値	26 年度 上半期 実績値	判定 (達成率)	26 年度 目標値	26 年度 実績値	判定 (達成率)
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	98,556	98,789	× (99.8%)	199,323	193,684	○ (102.8%)
(電気使用量)	kWh	174,037	174,797	× (99.6%)	340,134	344,975	× (98.6%)
(ガス使用量)	kg	2,398	2,637	× (90.0%)	4,705	4,193	○ (110.9%)
(ガソリン使用量)	L	9,970	10,004	× (99.7%)	19,790	19,647	○ (100.7%)
(灯油使用量)	L	344	0	○ (200.0%)	3,059	794	○ (174.0%)
水道水使用量	m <sup>3</sup>	2,491	1,368	○ (145.1%)	4,711	2,665	○ (143.4%)
廃棄物排出量	kg	1,718	1410	○ (117.9%)	4,186	2,835	○ (132.3%)
化学物質使用量の適正管理	適正管理	—	—	—	—	—	○
グリーン購入	品目	—	—	—	6 以上	6	○
環境フェア (環境学習)	回	—	—	—	13 以上	24	○
清掃活動	回	—	—	—	14 以上	16	○

※ 達成率 = (1 - ((実績値 - 目標値) / 目標値)) × 100

## 1 二酸化炭素排出量の削減

二酸化炭素排出量は、目標を達成できましたが、電気使用量については目標を達成できませんでした。おもな原因は、筑後検査センターの増築（平成24年11月）に伴う電力量の増加や事業量の増加と考えています。

## 2 廃棄物排出量の削減

廃棄物排出量は、目標を達成することができました。

コピー用紙の両面使用、メールやローカルネットワーク、プロジェクターの使用などにより、紙使用の削減ができた結果と考えています。

## 3 総排水量の削減

総排水量は、目標を達成することができました。。

職員の節水意識はもちろんですが、「純水製造装置」による節水が大きいと考えています。

## 4 化学物質使用量の適正管理

化学物質使用量の削減が難いため、使用量等の管理に努めており、適正な管理ができたと考えています。

## 5 グリーン購入

事務用品等のグリーン購入は、6品目と目標を達成することができました。

## 6 環境フェア

環境フェアへの出展6件、小学校への出前講座15件など、環境保全に関する普及啓発活動の実施件数は24件で、目標を達成することができました。

今後も継続的に活動を実施していく予定です。

## 7 清掃活動

地域清掃への参加など16回の清掃活動を行い、目標を達成することができました。

今後も継続的に活動を実施していく予定です。

## Ⅶ 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

### 電力等の抑制（責任者：総務班長 担当：全職員）

○：できた △：まあまあできた ×：できなかった

取組内容	達成状況	評価と次年度の取組内容
① 無人スペース及び昼休み時の消灯を徹底する。	○	<p>節電等を意識し、二酸化炭素排出量の抑制を心掛けました。 次年度も活動を継続します。</p> 
② 室内の温度を夏場 28℃、冬場 22℃に調整する。ただし、温度管理が必要な場所（検査室等）は除く。	○	
③ エアコンフィルターの清掃は、年2回実施する。	○	
④ 使用しない電気器具は、コンセントから抜くなど、節電に努める。	○	
⑤ 冷蔵庫の温度調節を夏場は中、それ以外は弱にする。ただし、検査用冷蔵庫は除く。	○	
⑥ 電気、ガス、灯油の節約を呼びかける掲示を行う。	○	

### 紙使用量の削減（責任者：総務班長 担当：全職員）

○：できた △：まあまあできた ×：できなかった

取組内容	達成状況	評価と次年度の取組内容
① コピー用紙の両面使用を徹底する。ただし、個人情報等を含む紙は裏紙使用しない。	○	<p>両面使用などにより紙の削減を行いました。 次年度も活動を継続します。</p> 
② メール及びローカルネットワーク、プロジェクター等の活用による紙使用の削減に努める。	○	

水使用量の削減（責任者：水質検査班長 担当：全職員）

○：できた △：まあまあできた ×：できなかった

取組内容	達成状況	評価と次年度の取組内容
① 水回りに節水を呼びかける文章を掲示する。	○	節水を心掛け、水使用量の削減を心掛けました。 次年度も活動を継続します。
② 水漏れの点検を月1回実施する。	○	
③ 再生水は器具洗浄、トイレ洗浄の他、植木等の散水にも利用する。（筑後検査センターに限る）	○	



廃棄物の削減及びリサイクルの促進（責任者：総務班長 担当：全職員）

○：できた △：まあまあできた ×：できなかった

取組内容	達成状況	評価と次年度の取組内容
① ゴミの分別を徹底する。	○	資源のリサイクルやグリーン購入を行いました。 次年度も活動を継続します。
② コピー用紙や新聞紙、段ボール等の資源化に努める。	○	
③ グリーン購入に努める。	○	



### 自動車燃料の抑制（責任者：法定検査班長 担当：全職員）

○：できた △：まあまあできた ×：できなかった

取組内容	達成状況	評価と次年度の取組内容
① 自動車を運転する際、無駄なアイドリングをせずアクセルむらのない運転に努める。	○	エコ運転等を心掛け、燃料の抑制に努めました。 次年度も活動を継続します。
② 検査場所へ移動する際、コースの選定など効率的な運転に努める。	○	
③ タイヤの空気圧を1ヶ月に1回チェックする。	○	
④ オイル交換を5,000 km 毎又は半年に1回実施する。	○	
⑤ 車内温度の上昇を抑制するため、夏場は、駐車時及び休憩時にサンシールドを使用する。	○	

### 地域社会における環境活動計画（責任者：総務班長 担当：全職員）

○：できた △：まあまあできた ×：できなかった

取組内容	達成状況	評価と次年度の取組内容
① 出前講座や会員等が開催する研修会、環境フェアなどへの職員の派遣を協会会報及びホームページにより積極的に広報するとともに、市町村広報紙による広報を年1回は要請する。	○	地域の水環境を保全・向上させていくために、「出前講座」や「環境フェア」などへ職員を積極的に派遣しました。 次年度も活動を継続します。
② 事務所周辺の清掃活動を環境月間の6月と浄化槽の日がある10月の年2回実施する。	○	
③ 環境活動レポートをホームページに掲載する。	○	
④ 月1回行われる地域自治会の清掃活動に積極的に参加し、周辺地域の美化に努める。 (筑後検査センターに限る)	○	

### 化学物質使用量の適正管理（責任者：水質検査班長 担当：全職員）

○：できた △：まあまあできた ×：できなかった

取組内容	達成状況	評価と次年度の取組内容
P R T R制度対象物質及びその他の化学物質の使用量を適正に管理する。	○	<p>試薬の使用量等を適正に管理しました。 次年度も活動を継続します。</p> 

### 職員教育の充実（責任者：総務班長 担当：全職員）

○：できた △：まあまあできた ×：できなかった

取組内容	達成状況	評価と次年度の取組内容
① 職員の環境教育・環境学習を推進する。	○	<p>月1回の環境教育・環境学習を行いました。 次年度も活動を継続します。</p> 
② 毎年度始めに全職員に環境方針や環境活動計画を周知・徹底する。	○	

### 内部監査の実施（責任者：総務班長 担当：全職員）

○：できた △：まあまあできた ×：できなかった

取組内容	達成状況	評価と次年度の取組内容
内部監査制度をつくり、内部監査を実施する。	○	<p>各検査センターの内部監査を実施し、エコアクション21の適正な運用を行いました。 次年度も活動を継続します。</p>

## Ⅷ 次年度以降の環境目標

平成25年度実績より、平成27年度から平成29年度までの中長期目標を決めました。

削減項目	単位	基準値 (H25年度実績)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
二酸化炭素排出量	目標%	—	99.9%	99.8%	99.7%	
	kg-CO <sub>2</sub>	294,863.83	294,568.96	294,274.10	293,979.23	
	電気	kWh	369,406.00	369,036.59	368,667.19	368,297.78
	ガス (1m <sup>3</sup> =2.07kg)	kg	6,841.35	6,834.51	6,827.67	6,820.83
	ガソリン	L	19,766.86	19,747.09	19,727.33	19,707.56
灯油	L	798.00	797.20	796.40	795.61	
廃棄物排出量	目標%	—	99.9%	99.8%	99.7%	
	kg	3,304.37	3,301.07	3,297.76	3,294.46	
	燃えるゴミ	kg	1,564.46	1,562.90	1,561.33	1,559.77
	コピー用紙	kg	318.90	318.58	318.26	317.94
	古紙類	kg	1,155.78	1,154.62	1,153.47	1,152.31
	缶・ビン	kg	41.74	41.70	41.66	41.61
	ペットボトル	kg	9.81	9.80	9.79	9.78
その他不燃ゴミ	kg	213.68	213.47	213.25	213.04	
総排水量	目標% m <sup>3</sup>	— 2866.50	99.9% 2863.63	99.8% 2860.77	99.7% 2857.90	
化学物質使用量	—	使用量を把握し、適正使用に努める。				
グリーン購入	品	5	7以上	8以上	9以上	
環境フェア	回	13	13以上	同左	同左	
清掃活動	回	14	14以上	同左	同左	

(平成25年度九州電力のCO<sub>2</sub>排出係数：0.613 kg-CO<sub>2</sub> / kWh を使用)

## Ⅸ 環境関連法規への違反・提訴等の有無

### 1 環境関連法規の遵守状況

○：違反なし ×：違反あり

環境関連法規	違反の有無
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○
下水道法	○
水質汚濁防止法	○
毒物及び劇物取締法	○
使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）	○
フロン回収・破壊法	○
特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	○

### 2 訴訟の有無

関連当局からの違反の指摘はありませんでした。

### 3 外部からの苦情

外部からの苦情はありませんでした。

## X 代表者による全体評価と見直し結果

### 《全体評価》

当協会では、平成19年度からエコアクション21の認証を受け、7年が経過しました。電気使用量及び水道使用量等の削減、自動車のガソリン消費を抑えるエコ運転の実施、両面印刷等により無駄なコピー用紙の使用を控え、ゴミの排出量を極力減らしていく取組を実施しており、職員の環境への取組に対する意識は着実に浸透しています。また、内部監査を実施し、取組状況の確認などを行っており、環境経営システムが有効に機能していると考えます。

これまでの取組の成果により目標達成が困難な状況ではありますが、今後も職員自らが積極的に環境への取組を行うことを期待するところです。

### 《環境方針、環境目標、環境活動計画の見直しについて》

環境方針、環境活動計画については、変更の必要性がないものと判断し、変更しません。

環境目標については、中長期計画の3年間が終了したため、筑後検査センターの増築や事業量の増加を考慮し、平成25年度を基準とし、平成27年度以降の3年間の計画を決めました。

なお、今後も環境影響を低減するために、全職員に対して引き続き、環境教育、人材育成を積極的かつ継続的に行い、環境マネジメント活動を推進し、より一層の環境配慮型事業所を目指します。

平成27年5月29日

環境マネジメント責任者 古賀政利



地球規模で自然破壊が進んでいる今、美しい自然を守るために、環境保全への取り組みが緊急な課題とされています。

とりわけ公共用水域の水質汚濁の進行は深刻な状況にあります。かつてこれらの公共用水域の水質汚濁の原因は、工場などの産業系排水とされてきましたが、今では私たちの「生活排水」が河川などを汚す主な原因となっています。

豊かな清流と快適な生活環境を次世代に継承するために、当協会は「美しい水環境の創造へ」をテーマに下水道と同等以上の性能を有する浄化槽の普及と法定検査を通じて浄化槽の適正な施工及び維持管理の向上を図っています。

みなさまの一層のご理解とご協力をお願いします。

一般財団法人福岡県浄化槽協会

〒811-2412

福岡県糟屋郡篠栗町大字乙犬966-2

電話 (092) 947-1800

FAX (092) 947-3636

<http://www.fjkyo.or.jp/>